

# 記入例

・新規  
・更新  
・書換

・継続  
・追加

※処理事項

審 査

承 認

交 付

受 領

受 付 印

免税軽油の使用に係る事務所又は事業所所在地

彦根市〇〇町4-1

使用者証の左上にある番号です。

年 月 日

業 種 名

農 業

滋賀県 第 号

免税軽油使用者証の番号及び氏名（名称）

滋賀 太郎

使用する機械の記入欄です。使用者証に記載されている機械の番号をご記入ください。

申請に回答する氏名並びに電話番号

（携帯） 090-0000-0000  
※平日昼間につながる番号

## 免税証 交付申請書

機 械 ・ 車 輛 又 は 設 備 名 （ 番 号 ）

No. 1

今回申請される免税軽油のリットル数をご記入ください。

所要数量合計

1000 リットル

所要数量計算期間

年 月 日 から  
年 月 日 まで

受付日もしくは受付日翌月初日～1年間です。  
ただし、所要数量期間が4月1日～3月31日の場合で、  
2、3月に申請される場合は、4月1日始まりとなります。  
※前回交付した免税証の有効期限と重複できません。（追加申請除く）

希望する販売業者名及び所在地

免税証の種類

枚 数

数 量

※ 処 理 事 項

☐変更なし ☐変更あり ☐新規

200 リットル券

5 枚

1000 リットル

※変更あり、新規の場合は以下ご記入をお願いします。

販売業者名

〇〇石油

所在地

彦根市〇〇町100

変更なし・変更あり・新規のいずれかにチェックをつけてください。  
変更ありまたは新規の場合は、  
販売業者名と所在地をご記入ください。

免税証の種類

・10,000	・5,000
・1,000	・500
・200	・100
・50	・20
・18	・10
・5	・1

リットル券

計

前回交付を受けた免税証

左のうちの使用量（引取り数量）

返納数量

計算期間

数量①

期 間

数量②

①－②

参

年 月 日から

年 月 日から

年 月 日まで

年 月 日まで

リットル

リットル

リットル

前回交付された免税証の有効期間と数量をご記入ください。

※ 使用者証の右下にあります。数段ある場合は、最下段の期間と数量をご記入ください。

購入した数量をご記入ください。

※ 実際に使用した数量ではありません。期間は左と同じです。

免税証を使用しなかった、または紛失した数量をご記入ください。  
※ 未使用の場合、「返納届」、紛失の場合、「紛失届」の提出が必要です。

第十六号の二十一様式

（第八条）

所 要 数 量 計 算 の 基 礎

免税軽油を使用するトラクター・コンバイン以外の機械名・稼働時間

・ 機械名 **田植え機** ・ 稼働時間 **60** 時間  
 ・ 機械名 時間  
 ・ 機械名 時間

田植機・リフト等の機械がある場合、または畦塗作業・大豆コンバインでの刈取り等がある場合はご記入ください。

申請期間における作物別耕作面積

申請期間に

作物名	耕作面積	作物名	耕作面積
水稻	a	畑	a
麦	a	大豆	a
備考		減反管理	a
		その他 果樹・ハウス等	a

※新規申請者および農業受給者がある方は、農業委員会発行の証明書を添付してください。

記 載 要 領

- この申請書は、継続して免税証の交付を受けようとする滋賀県東北部において、交付を受けようとする滋賀県作物ごとの耕作面積をご記入ください。
- 「※」
- 「機械名」欄に**※ 同じ作物で個人と共同申請(営農組合など)の作業があるときは、そのことがわかるようにご記入ください。**機械、車両または設備名の記載のみをもって足りるものではない。
- 所要数量の計算方法等により明細に記載し、個人と共同申請(営農組合など)は重複できません。こと。

● 1年間の申請量が12,000リットル以下の方は署名してください。

様式第17号の19

免税軽油の引取り等に係る報告書提出期限の特例適用者指定申請書

年 月 日

滋賀県東北部県税事務所長 様

住所

表面と同一

氏名

**滋賀 太郎**

(法人にあっては、その名称および代表者の氏名)

電話

表面と同一

滋賀県税条例第58条の12第2項の規定による指定を受けたいので、同条第2項の規定により次のとおり申請します。

免税軽油使用者証番号	表面と同一
報 告 対 象 期 間	交付される免税証の有効期間と同一
免税証の交付申請数量	表面と同一